

更に充実の内容へパワーアップ！

日本語学習支援者育成研修

(公財)京都市国際交流協会では、文部科学省の「地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業」として、京都市における在住外国人の日本語学習環境の充実や人材育成研修などに取り組んでいます。

京都市を含め、全国的に外国籍住民が増えているなかで、地域の中で日本語を学び、お互いに交流する機会が求められています。外国籍住民の学びと地域参加をボランティアとして支えるのが『学習支援者』です。

今年は特に、日本語学習の手引き「生活 Can do」を用いた学習の普及や教材理解を重点として取り上げ、現在活動中及びこれから学習支援者として活動を希望する受講者が、生活者として暮らす外国人と対等な立場で学習者に向き合い、学習者主体の日本語学習の場を提供するために必要な視点や具体的な方法を学べる研修といたします。

研修終了後は、kokokaの日本語クラスや地域日本語教室での活動に参加できるようサポートします。

開講日

2025年8月

10日(日), 23日(土), 30日(土)

* 講義はすべて対面で実施予定です。

* 詳細は裏面をご確認ください。

対象

日本語学習支援に関わっている方・興味がある方、
日本語指導のスキルアップをしたい方

定員

各日 50名 (先着順)

参加費

各日 2,000円

* 注意とお願い *

- ・参加費は各研修当日に現金でお支払いください。
- ・クレジットカードや電子マネーでのお支払いはできませんのでご注意ください。
- ・天候や講師の急な事情により、研修が中止になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

* 申込み方法 *

HPの申込みフォームから
またはお電話で
申込みフォーム



TEL 075-752-3511

第6弾

レベル・経験問わず
単日申込可

ここに注目！

「生活 Can do」ってなに？

「生活Can do」は、「日本語教育の参照枠」に示された分野別の言語能力記述文（Can do）の一つです。国内に在住する外国人（「生活者としての外国人」）が、日常生活の中で必要とされる言語活動を例示したものであり、単なる言語能力の測定ではなく、生活者としての外国人が日本社会における自立と充実した生活を支援することを目的としています。

このCan doは、学習支援者が生活者として日本語学習者を捉え、学習活動をデザイン・実践する際にも大いに役立ちます。現在では広く活用が進められ、関連教材も増えつつあります。



文部科学省

プログラム

8/10
(日)

10:30 - 12:00 (1) 地域における対話・交流型日本語学習概要

講師 新矢 麻紀子 氏
(大阪産業大学国際学部国際学科 教授)

13:00 - 14:30 (2) 教室運営の基本的視点、教材活用のポイント

講師 有田 玲子 氏
(東京にほんごネット 代表)

8/23
(土)

10:30 - 12:00 (3) 在住外国人の在留資格の現状と概観

講師 山田 啓子 氏
(姫田・山田行政書士事務所 行政書士)

13:00 - 14:30 (4) 「やさしい日本語」で話し、聴いて、対話してみよう

講師 黒田 亮子 氏
(国際交流基金 関西国際センター 日本語教育専門員)

8/30
(土)

10:30 - 12:00 (5) 「日本語教育の参照枠」や Can do について知ろう

講師 戸田 淑子 氏
(国際交流基金 関西国際センター 日本語教育専門員)

13:00 - 14:30 (6) 教材『まるごと』を学習者として体験しよう

講師 和栗 夏海 氏
(国際交流基金 関西国際センター 日本語教育専門員)

アクセス・お問い合わせ

(公財)京都市国際交流協会(kokoka)

〒606-8536 京都市左京区栗田口鳥居町2-1

TEL: 075-752-3511 FAX: 075-752-3510

E-mail: office@kcif.or.jp



kokoka HP



地下鉄東西線「蹴上」駅②番出口より徒歩6分
市バス5・100系統「岡崎公園美術館・平安神宮前」下車徒歩10分